

メイプル通信 Maple

NEWSLETTER

福岡カナダ協会広報誌
Fukuoka
Canada
Society

Vol.34



平成24年度
クリスマスパーティーが
開催されました。

平成24年12月17日(月)
グランドハイアット福岡



福岡カナダ協会クリスマスパーティー2012



2012年を締めくくるイベントとして、恒例の福岡カナダ協会クリスマスパーティーを12月17日(月)、グランドハイアット福岡にて開催しました。会員やそのご家族、ご友人など、総勢114名が参加し、一足早いクリスマスの夜を楽しみました。

パーティーは、鎌田会長の挨拶で幕を開け、続いてカナダ大使館のマッケンジー・クラグストン大使より、流暢な日本語でのご挨拶と乾杯のご発声いただきました。

カナダビールでの乾杯の後は、カナダ産の食材を使った料理や、カナダのクリスマスには欠かせない七面鳥のローストなどをカナダワインと共に楽しみながら、親睦を深めていただきました。

その後、福岡市少年少女合唱団の皆さまに美しい歌声でクリスマス・ソングなど7曲を歌っていただき、会場は一気にクリスマスの雰囲気になりました。



福岡市少年少女合唱団の皆さまがクリスマスソングを披露



アイスホッケーのユニフォームやカナダの写真集等を展示したカナダコーナー



鎌田会長の開会挨拶

そして、今年度の当協会奨学生、ダルシー・バーマーさんの紹介のあと、バーマーさんが挨拶をしました。カナダ人にとってクリスマスは、文化や信仰に関係なく、仕事から離れて家族や友人など大切な人との時間を過ごすものだそうです。

歓談していると、サンタクロースが子どもたちにプレゼントを持ってやって来ました。サンタさんを目の前にしてはじめは少し緊張気味の子どもたちでしたが、次第に気持ちもほぐれて笑顔でプレゼントを受け取っていました。

続いて恒例のプレゼント抽選会です。今年も豪華なプレゼントが約30名の方に当たりました。当選された方、おめでとうございます。

最後は当協会の明石理事(西日本鉄道(株)相談役)のご挨拶で、2012年のクリスマスパーティーが終了しました。



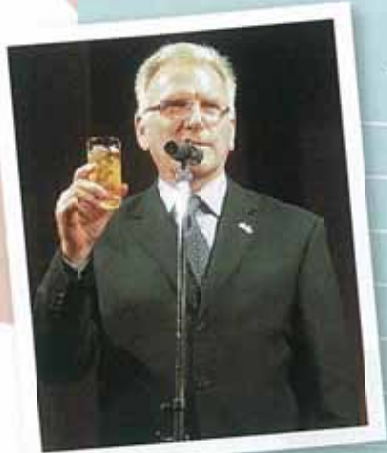
カナダでは定番のクリスマス料理、七面鳥



当協会奨学生
ダルシー・バーマーさん



明石理事の閉会挨拶



マッケンジー・クラグストン駐日カナダ大使のご挨拶(抜粋)

鎌田会長、皆さま、こんばんは。駐日カナダ大使としてこのクリスマスパーティーに参加できますことを大変光栄に思います。私の日本との関係といえば、前回は公使として、その前は大阪の領事として2003年まで滞在し、今回で5回目になります。ですから、今までにお目にかかったことがある方もいらっしゃるかもしれません。

福岡カナダ協会には、個人やビジネス関連の様々な活動を通して、日加両国の懸け橋となる多大なるご尽力をいただいております。

年次総会等においても、大使館を代表して公使のロバート・デロウィンが参加させていただき、ありがとうございます。また先月は、カナダ大使館主催のカナダ留学フェアがアクロス福岡で開催され、多くの日本の若者にカナダ留学の魅力をお伝えすることができました。

2012年7月の「カナダ・マンス」も成功したものの一つではないでしょうか。カナダデー・イベントをはじめ、バーベキュー、料理教室、親子ボークイベントやロブスターフェアなど、21もの食に関するイベントが行われました。中でもカナダデー・イベントには1300人もの参加があり、日本全体で見ても最大規模のカナダデーの集会となり、大盛況のうちに終了しました。

ここ福岡に日本とカナダのコミュニティーが集うことで、私達は共に様々なことにチャレンジし、素晴らしい日加関係を築いていくことができると感じています。

今晚のクリスマスパーティーは私達の絆と希望を願い、祝う会です。2013年が皆さまにとって素敵な一年となりますようお祈り申し上げます。また、福岡カナダ協会の皆さまと一緒に活動でき、実りある一年になりますよう、大使館のスタッフとその家族一同、心より願っています。

協賛品、ありがとうございました！

今年もたくさんの協賛品を会員の皆さまよりご提供いただきました。抽選会の景品や子どもたちへのプレゼント、抽選に漏れた方へのお土産として使わせていただき、おかげさまでたくさんの方に喜んでいただけました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。



Letter from
D'Arcy Palmer



留学生だより

ダルシー・パーマーさん

カナダで生まれ育った私は、ある意味、他のカナダ人がほとんどしたことのない経験をする事ができました。それは、私の家族が何度も引越しをしたので、カナダのいろんな地域のいろんな町に住んだことがあるということです。私のお気に入り、最も長い間住んだのは、カナダ中央部にあるウィニペグという町です。しかも世界最高級のアイスホッケーチーム、ウィニペグ・ジェッツの本拠地です。

ウィニペグに住んだことがないカナダ人にとって、ウィニペグといえばほとんどの人が「寒い冬」をイメージします。しかし、住んだことがある人にとっては、友好的で驚くほど多様性のある町なのです。私が長い間日本文化に興味を持っていたのも、子どもの頃、ウィニペグ市立図書館で開催された折り紙教室に参加したからなのです。アシニボイン川とレッド川が交わる場所に位置するウィニペグの歴史は、フランス人と先住民との毛皮取引の拠点として始まりました。今でもフランス系住民と先住民は人口の大部分を占めています。

サン・ボンファス地区に多く住むフランス系住民は、毎年2月に北アメリカ最大の雪祭り「Festival du Voyageur」を開催しています。お祭りでは、雪像コンテストや、凍った川でのスケート、メープル・シロップを使った伝統的なお菓子作りなどが楽しめます。人々は、ヨーロッパからの開拓者である「毛皮運びの船頭たち」(Voyageurs)が着ていた毛皮のコートを身にまとい、カラフルな「サッシュ」と呼ばれるベルトを着けます。しかし、ウィニペグのお祭りはそれだけではありません。夏には、フォークロラマ(Folklorama)という民族の多様性を祝うお祭りもあります。初期のフランス商人から、イギリス系・スカンジナビア系農民、後にやってきた東欧の農民、さらに近年のアジア人やラテン系アメリカ人まで、様々な移民が住むウィニペグは、カナダの多様性を象徴する町として発展してきました。

もちろん、カナダで最も多様性がある街は、私がアジアに移り住む前に住んでいたカナダ最大の都市トロントです。ここで、少しトロントについても紹介したいと思います。私はトロントの見所はどこかと聞かれると、いつも返答に困ってしまいます。トロントは観光する街ではないからです。むしろ、おいしいものを食べ、いい音楽を聴くところなのです。トロントは、様々な国のおいしい食べ物や、素晴らしい音楽があふれるとても住みやすい街です(私は特にダンフォース通り沿いのギリシャ人街で食事するのが好きです)。そして、ウィニペグと同様に、多様性が人々の生活をより豊かにしている街の一つだといえます。



「Festival du Voyageur」
上:民族衣装を着てお祭りを楽しむ人々
下:カヌーを運ぶ男たちの雪像
(写真提供:Travel Manitoba)



とても住みやすい街、トロント

ダルシー・パーマーさん

九州大学大学院法務院法政理論専攻国際コース・CSPAプログラム
で政治学・東アジア地域主義を研究している。



事務局から

会員募集

福岡カナダ協会では会員を募集しています。お知り合いに、カナダに興味のある方、カナダへの留学・滞在経験者の方、福岡在住のカナダ人の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

年会費納入のお願い

まだご納入がお済みでない方は、恐れ入りますが、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします。また、住所変更や法人会員の方の代表者交代等がある際は、お手数ですが事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。